

久慈の旅

岩手大学教育学部特別聴講学生 余静心

海辺で生まれた私にとって、夏といえば海だ。ちょうど今年の夏の終わりに、海辺に行くチャンスが来た。「民泊無料モニターツアー（久慈侍浜町）」というイベントに行った。そして、二日一泊の旅が始まった。

9月20日は朝八時盛岡駅から出発し、十時半頃久慈に到着した。バスに降りたとたん、すぐ海の匂いがした。一番目の体験は横沼漁港での漁業体験だ。地元漁師によってサッパ船に乗り漁師気分を体験するという体験だ。船に乗ったとき、きれいな海に囲まれ、小さい頃のことを思い出した。網で魚釣りをすることも新しい体験だ。ちょうど今はカニの季節だから、カニを沢山釣ることができた。漁業体験の後、侍の湯「きのこ屋」という店で名物の「しいたけハンバーグ定食をたべ、とても美味しかった。昼食が終わり、久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」で見学した。ここは国家石油備蓄基地のトンネルを使った日本初の地下水族館だ。自分の実家も大きい水族館があり、また小さい頃家族と一緒に水族館に行くことを思い出した。午後四時の頃、久慈秋祭りを見学した。これは600年の歴史がある県北最大の祭りという。道幅いっぱいの大きな山車と活気あふれる神輿が久慈市の目抜き通りを通すという。非常に楽しかった。夜は侍浜町の地元の方の家で過ごした。谷崎という優しいお父さんとお母さんであり、すごく美味しい料理を作っていたいて嬉しかった。非常に珍しい体験だと思う。

二日目は雨だった。八時半頃谷崎さんの家から出発した。翌日の一番目の体験はみちのく潮風トレイルだ。地元の案内人の桑田さんにより、青森県～福島県の太平洋沿岸をつなぐロングトレイルをした。雨のせいでもほとんどバスから見たが、とてもきれいだと思う。そして、「横沼コミュニティセンター」という処で、地元のお母さんたちと一緒に、地場の食材を活用した郷土料理作りを体験した。食べたことない料理もたくさん作ることができた。優しいお母さんと一緒に過ごした時間は、半年両親と別れた私にとって相当貴重だと思う。

この二日間の旅は今年の夏の最高の終わりになった。もし機会があれば、もう一回久慈に行きたいと思う。

对于在海边长大的我来说，说起夏天就是大海了。正好在今年夏天的最后，有了一次去海边的机会。我参加了一个叫做免费免费民俗的活动，进行了两天一夜的旅行。

9月20号早上八点从盛冈车站出发，十点半左右到了久慈。从巴士上下来的瞬间就闻到了海的味道。第一项体验是在横沼渔港的渔业体验。在当地渔师的指导下我们乘坐渔船进行了渔师体验。这回忆起了小时候周围被海水环绕的感觉。用渔网捕鱼对我来说也是一次新的体验，正好现在是吃螃蟹的季节，我们捕上来了很多螃蟹。在渔业体验之后，我们在侍之汤蘑菇屋吃了那里的名产香菇汉堡肉定食，非常好吃。吃过午饭，我们去了久慈地下水族馆。这里是日本第一所使用了国家石油储备基地隧道的地下水族馆。在我老家也有一个很大的水族馆，又一次回忆起了小时候和家人一起去水族馆的经历。下午四点左右，我们去了久慈的秋日祭，这是有六百年历史的县北最大的祭奠，道路上有很多非常大的山车和神轿，玩的非常开心。晚上是在侍滨当地人的家里度过的。是一对姓谷崎的夫妻，给我们做了很好吃的料理，我们过得非常开心。对我来说也是一次珍贵的体验。

第二天下着雨，八点半左右从谷崎一家出发。第二天的第一想体验是游览当地有名的景点。由当地的介绍人领着，游览了从青森县到福岛县的太平洋沿岸的景点。虽然因为下雨大部分时间是在巴士上度过的，但还是度过了一段很愉快的时间。然后，在横沼交流中心，与当地的妈妈们一起用当地的食材体验了乡土料理的制作。也做了很多吃都没吃过的料理。和温柔的妈妈们一起度过的时间对于我这个与父母分别了半年人来说，也是非常珍贵的回忆。

这两天的旅行为我今年的夏天画上了一个完美的句号，如果有机会，我一定会再去一次久慈。







